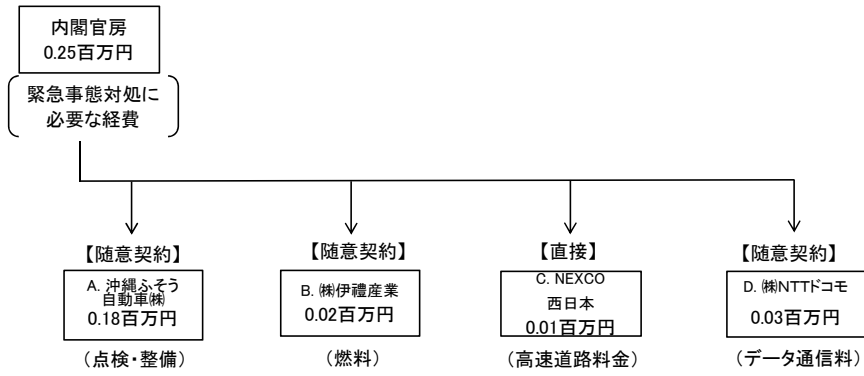


平成27年度行政事業レビューシート(内閣官房)

事業名	緊急事態対処に必要な経費			担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者	
事業開始年度	平成22年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	事態対処・危機管理担当		内閣参事官 村上 顕樹	
会計区分	一般会計			政策・施策名	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	内閣官房に沖縄危機管理官を置く規則 (平成16年10月15日内閣総理大臣決定)			
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄において、在日米軍関連の重大事故が発生した際に「米軍事故対応現地緊急対策チーム」が立ち上げられ、内閣官房が内閣官房沖縄危機管理官を中心として、事故現場における情報集約及び政府中枢への報告等に必要となる任務を適切に遂行するための活動拠点車両等の整備・維持に係る経費。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	内閣官房沖縄危機管理官等が重大な在日米軍事故が発生した際に使用する活動拠点車両及び携帯電話の維持及び使用に関する経費							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	
	執行額	0.3	0.1	0.3				
執行率(%)	63%	23%	63%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 年度	
	-	-	成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標を設定できない理由	定性的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績						
	定性的な成果目標	沖縄における在日米軍関連の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等にかかる対応強化が目標となるため、定量的な成果目標を定めることが困難である。						
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 年度
	沖縄における在日米軍関連の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等にかかる対応強化に向けた実動訓練を実施する。	実動訓練の回数	実績	回	1	1	1	-
			目標値	回	1	1	1	-
			達成度	%	100%	100%	100%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	沖縄における在日米軍関連の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等の実動訓練の回数	活動実績	回	1	1	1		
		当初見込み	回	1	1	1		
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
		単位当たりコスト	-	-	-	-		
		計算式	/	-	-	-		
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	庁費	0.3	0.3	自動車関係経費の増(車検、自賠責保険、自動車重量税)				
	情報処理業務庁費	0.1	0.1					
	自動車重量税	0	0					
	計	0.4	0.5					

事業所管部局による点検・改善				
		項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	沖縄における在日米軍の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等にかかる対応強化を目標とする国民の関心の高い事業であり、国が実施すべき事業である。
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	-	-
事業の効率性		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	沖縄における在日米軍の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等にかかる対応強化を目標とする国民の関心の高い事業であり、国が実施すべき事業である。
		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定についても、妥当であるか十分な検討を行うとともにコストの削減にも努めている。
事業の有効性		受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	効果的・効率的な目標達成のため、必要なものについて、十分な比較検討を行っている。
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	在日米軍の重大事故が発生しなかった場合には、一定の不用が生じる。
		その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	支出先の選定についても、妥当であるか十分な検討を行うとともにコストの削減にも努めている。
関連事業		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	整備した活動拠点車両等については、在日米軍の事故対応のみならず、事故を想定した訓練にも活用しており見合っている。
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	整備した活動拠点車両等については、在日米軍の事故対応のみならず、事故を想定した訓練にも活用しており見合っている。
点検・改善結果	点検結果	沖縄における在日米軍の重大事故が発生した時の政府としての情報収集能力強化及び政府中枢への報告等の対応強化について、活動拠点車両の適切な維持・運用及び通信機器等が効果的・効率的に整備・運用されており、特に問題なし。		
	改善の方向性	引き続き、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に努める。		
外部有識者の所見				
過去3年の範囲しか見ることができないが、不要率が過大ではないかと疑われるおそれがある。この疑問に答えるためには、そもそもどれくらいの不要率が適正なのかという説明、あるいは必要予算の規模についての説明などが必要なのではないだろうか。いずれにしろ適正な規模の予算であるかどうかという点について、丁寧な説明が望ましい。				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。 また、外部有識者の所見を踏まえ、執行不用についての考え方を整理し、適正な予算規模の説明及び執行を行っている旨の説明を行うこと。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に努める。 本件は、沖縄における在日米軍関連の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中枢への報告等にかかる対応強化のための緊急事態対応に必要な経費であることを踏まえて、活動拠点車両の適切な維持・運用等の予算執行の考え方について整理及び適正な予算規模であることを説明し、予算の効率的執行に留意することとする。			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年度		平成23年度	平成24年度	0016
平成25年度	0009	平成26年度	0010	

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄ふそう自動車(株)	車両の点検・整備	0.2	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株伊禮産業	車両の燃料費	0	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NEXCO西日本	高速道路料金	0	—	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株NTTドコモ	データ通信料	0	随意契約	—

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック